

清規史の研究 大石 四
 妙心寺史の研究 荻須 四
 三國佛法傳通緣起 大石 四
 道德教育の研究 山口 四
 教育社會學 味岡 四
 教育實習 味岡 三
 の學位記を受けられた。論題は「師資相承論の研究」である。授與式は3月17日大谷大學で行われ祝賀會は5月下旬の豫定。

關連科目(必修)

昭和35年度卒業論文題目

宗教哲學 久松 四
 哲學概論 三村 四
 哲學 三村 四
 東洋哲學史 福島 四
 政治學 松本 四
 日本史 藤 四
 外國史 金子 四
 人文地理 西村 四
 地誌學 谷岡 四
 地誌學 桑原 四
 倫理學 池長 四
 宗教學 緒方 四
 公衆衛生 山田(重) 二
 山田學長老師は1月9日より2月10日迄印度佛蹟巡拜旅行された。西村恵信助手は7月20日米國留學より歸朝した。平田高士講師はドイツ、ミュンヘン大學に招かれて禪學の講義をしたたり、グンデルト教授の禪錄獨譯の助手をすることになり、11月10日出發された。ドイツ語擔當は後期より橋本崧講師がされることになつた。又地誌學擔當の谷岡武雄講師は都合により後期より桑原公德講師が擔任されることになつた。荻須純道教授はかねて東洋大學に學位論文を提出しておられたが、10月28日付にて文學博士の學位記を受けられた。論題は「日本中世禪宗史の研究」である。
 伊藤古鑑教授、西義雄講師(東洋大學教授)は妙心寺本山より宗門文化賞が12月9日授與され、翌10日同窓會主催で荻須先生の學位の祝賀共々盛大な祝賀會が行われた。今度久松眞一先生には11月1日付で總理府より紫授褒章を受けられた。
 今津洪嶽教授も大谷大學に學位請求論文を提出しておられたが、2月7日付にて文學博士

仏教哲學專攻

初期大乘佛教思想から觀たる維摩菩薩道の研究序説 岡本 惠昭
 雲棲株宏の念佛禪 長屋 徳宗
 學道用心集の研究 平松 賢隆
 隋唐佛教先徳の教相判釋 高橋 泰春
 中國に於ける公案禪の研究 照山 靖道
 修道論戒定慧三學道と解脫 櫻井 宗雄
 大乘涅槃經成立とその意圖 前田 鐵城
 佛教に於ける時間について 大江 尊貴
 最無比經の研究 伊藤 正彦
 御註法華品釋の研究(本覺思想の發展として) 小笠原照道
 根本佛教に於ける修行論について 前田 昌誼
 閻陀伽について 藤田 忠宏
 佛頂尊勝陀羅尼經の研究 新井 宏英
 止觀の研究 鷲坂 宗演

教育心理學 富田 二
 青年心理學 // 二
 教育原理 山口 四
 社會科教育法 味岡 二
 宗教科教育法 中原 二

禪哲學專攻

東嶺禪に於ける數息觀と禪定論
(達摩多羅禪經說通考疏を中心として)

禪僧の獨脱性について

世阿彌の禪的知識

至道無難禪師の研究

白隱禪師の三教思想

六祖禪の課題

禪に於ける國家意識の問題

寒山詩の世界

中世の日本禪に於ける無常觀

禪に於ける修證の問題について

禪の倫理

念佛禪の研究

(特に雲居禪師の念佛禪について)

禪の墨蹟について

天龍寺の開創について

木下 義康

奥田 良忠

岡村 義門

荻原 忠信

森田 宜昌

野々村昌夫

法輪 文珠

岩佐 寛治

善國 乘仁

小林 武敏

花木 義正

渡邊 宗勝

小川 昌弘

大西 道裕

竹中 元

大橋 宏成

服部 夫信

横井 邦夫

佛光派の研究 (特に高峰顯日について)

中峰明本の研究

一遍上人を中心とする「禪と念佛」の研究

授翁宗弼の研究

寒巖義尹の研究

至道無難禪師の研究

愚堂和尚の研究

四國に於ける禪宗の傳播について

大休宗休禪師の研究

初期南禪寺史に就いて

心學の成立期に於ける禪との交渉

遺誠を中心とした應燈二祖の研究佐々木良明

福田 英男

平川 敏雄

岡野 桂一

今城 義尚

渡邊 善法

小芝 文洋

宇都宮 徹

福山 孝巖

山本 紀道

小林 恭三

伊達基克

2月13日 學長老師佛蹟巡拜歸朝講演會があつた。佛陀伽耶大塔の前に立つた時、釋尊の精神に觸れるものがあり、本當に釋尊の弟子の一人になつた氣がした。數千年來世界の何億もの人を救つてきた教えがここから起つたんだと思うと唯々感激あるばかりだ。

5月25日 創立記念日記念講演會は京都大學名譽教授、文學博士、山内得立氏の「世界思想に於ける佛教の位置」と題した講演であつた。世界思想の確立には佛教の中道思想が必要であり、哲學思想に於いては辨證法による同一律、矛盾律は考えられるが、排中律こそ佛教思想にあり、世界思想の確立に佛教は重大な位置をもつている。

同じく創立記念講演に朝日新聞論説顧問白石凡氏が「これからの日本」と題して講演があつた。戦後の中國が他の共產主義革命より異つた東洋的な革命によつて革新し、世界の四分の一の人口を擁している中國を無視することは出来ない。又隣國日本としても中國と國交を開かなくては日本の將來が不安である。

1月19日 古川妙心寺派管長猥下及び龍安寺松倉師のアメリカ開教巡錫歸朝講演會があつた。松倉師の講演によれば、日本人移住者兩宮亥之助氏の外護によつてロスアンゼルス郊外に妙心寺別院を創つて禪の傳道をして来た、後に繼ぐ伝道者を送りたい。

學術講演會

夏期禪學公開講座

7月11日より13日まで3日間、例年の夏期公開講座を毎夕6時30分から花園大學講堂で開催した。本年の講座題名及び講師は左記の通りであった。

提唱 碧巖錄 第5則雪峰盡大地、第40則南泉一株花、第46則鏡清雨滴聲

憲法成立の經過 山田無文學長

禪と現實生活 松本米治教授

床の間について 今津洪嶽教授

森 暢 教授

學 會

日本印度學仏敎学会、7月8・9・10日東京大學に於て開催された。本學より、

四悉檀私考 小林圓照助手

祖師禪の源と流 柳田聖山教授

伊那谷における大般若經信仰 橘 恭堂助手

幻住菴清規について 大石守雄助教

禪林學藝の起因について 荻須純道教授

菩薩の意義について 西 義雄講師

日本仏敎学会は11月11・12日同朋大學に於て開催された。本學より

佛敎倫理現實化の問題點 市川白弦教授

禪學研究会、昭和36年度禪文化研究所研究發表大會は、富田精教授の喜壽、緒方宗博教授の還曆記念特輯の發表會で、發表者は、ガンダヴィウハの思想史的研究

毒語心經について 小林 圓照

大般若經信仰の二三について 西村 惠信

日本の禪宗寺院に關する考察 橘 恭堂

未開氏族の他界觀念 大石 守雄

可中という語をめぐつて 稻岡 順雄

看話禪發生の意義 柳田 聖山

佛敎に於ける戰爭體驗 木村 靜雄

鳥獸戲畫について 市川 白弦

妙心寺の開創について 森 暢

など多數の發表があり、70數名の聴講者があつた。 荻須 純道

中国高僧伝輪読會、頂相研究会、日本禪僧伝研究会は昨年引續き例會を開いて研究を續けてゐる。

そのほか仏敎学会、禪宗学会、仏敎史学会も隨時例會をもち、卒業論文の中間發表や現地研修、史蹟踏査などを行つた。

仏敎史学会は9月上旬荻須教授、大石助教を中心として學生15名餘參加し、豊後地方、海を渡つて伊豫地方を四泊五日で史跡踏査研究旅行をした。拜觀した寺院は次の通りである。萬壽寺(大分)、大智寺(大分)、興聖寺(大分)、解脱寺(津久見)、見星寺(臼杵)、月桂寺(臼杵)、金剛山大隆寺(宇和島)、和靈神社、等覺寺(宇和島)、如法寺(大洲)、西禪寺(八多喜)、長福寺(王生川)、佛心寺(小松)、善通寺、金比羅宮、栗林公園、屋島と巡拜した。禪宗の地方傳播には、豊後地方には古月禪材禪師の一派の教線は廣く傳わり、伊豫地方には豊後より渡つた關山派が南伊豫に、北伊豫には聖一派が一部残つてゐる。

又禪文化研究会は22號に龍安寺開山義天文紹禪師五百年遠諱特輯が出され、4月18日遠諱法要が嚴修された。

25號は南禪寺南院國師六百五十年遠諱特輯號が編集され、4月1日より8日まで遠諱法要が嚴修され、3万人の參拜があつた。26號はこれまた妙心寺塔頭退藏院の開山無因宗因禪師六百年遠諱特別號にて、五月中旬法要が營業の豫定である。

禪 文 化 目 次

第21号(昭和36年1月發行)

提唱 俱胝堅指

山田 無文

精進料理の解剖(2)

長谷川卯三郎

白幽子墨蹟踏査の記

伊藤 和男

禪畫に見る圓相の畫 クルト・ブラッッシュ

香道史抄(五)

一色 梨郷

第25号(昭和37年4月發行)

山田 無文

退藏院の方丈と渡邊了慶

土居 次義

孤獨の隣人ソーロー(下)

伊藤 和男

提唱 香殿上樹

山田 無文

ルノンドー將軍

柴田 増實

隨筆 訪中講演の想出

中村 既右衛門

南院國師を讀んで

柴山 全慶

香道史抄(四)

一色 梨郷

第23号(昭和36年10月發行)

南院國師傳

南禪寺のあゆみ

櫻井 景雄

精進料理の解剖(1)

長谷川卯三郎

提唱 胡子無鬚

山田 無文

南禪寺の襖繪

萩須 純道

鯉

福田平八郎

東は東・西は西 「三番叟」はチベット語

古田 紹欽

南禪寺の庭園

森 暢

禪のムード

大井 際斷

禪の心理學

河口 正

南禪寺の案内

重森 三玲

一休の不覺

聽松 山人

珍皇寺伽藍圖

土居 次義

無關普門禪師の墓

池田 豊人

愚堂見て歩く記

高津 文郁

香道史抄(六)

一色 梨郷

禪寺巡禮 正傳寺

景山 春樹

鶏の五徳

柴山 全慶

ブランデンの石庭を讀む

壽岳 文章

香道史抄(八)

大石 守雄

提唱 世尊拈花

山田 無文

六道珍皇寺と迎鐘

坂井田仰山

第62號(昭和37年5月發行)

一色 梨郷

海南流寓の東坡居士

藤林 廣超

祖師西來意

加藤 宗活

提唱 國師三喚

山田 無文

座談會、求むZENマイスター

萩須 純道

無文老師ご渡印

聽 巖 生

瓢點圖の詩畫贊と作者たち

福島 俊翁

龍安寺義天玄紹禪師

中村 直勝

提唱 徳山托鉢

山田 無文

退藏院の方丈

萩須 純道

白い庭苑

木村 默宗

禪の虎談義

柴山 全慶

無因禪師の墨蹟

藤原 義一

義天和尙の法語と詩偈

川田 順

寒山拾得に於ける二重人格

淡川 康一

無因禪師の茶室考

渡會 恵介

短歌 龍安寺石庭

山口 誓子

臨濟義玄の人と時代

柳田 聖山

退藏院の庭園とその時代精神

横山 幽石

俳句 龍安寺

花柳徳三尾

白隨と無量寺

秋山 寛治

如拙・了慶・常信

中根 金作

石庭と兄徳兵衛

木村 靜雄

土

高柳 得實

隨筆 退藏院の庭

森 暢

義天さんの墓

森 暢

香道史抄(七)

一色 梨郷

妙心寺風景

奈良本辰也

細川昭元夫人像

松倉 紹英

禪寺巡禮 國泰寺

大石 守雄

東漸行II北米開教記録抄

松倉 紹英

禪寺巡禮 國泰寺

大石 守雄

禪寺巡禮 海清寺

大石 守雄

交換受贈雜誌

- 金城學園大學論集。大阪大學文學部紀要。印度學佛教學研究。駒澤大學研究紀要。ソフィア(上智大學)。大谷學報。芝浦工業大學研究報告。國部高校研究紀要。九州大學文學部紀要。相愛女子短大研究論集。金澤文庫研究。天理大學々報。アカデミア(南山大學)。福祉研究。三重縣立大學研究年報。山形大學紀要。神戸外大論叢。平安學園研究論集。宗教研究。橫濱市立大學紀要。日本大學文學部研究年報。大阪工業大學紀要。佛教大學研究紀要。同朋學報。東方學報。信州大學紀要。奈良學藝大學紀要。立教大學研究報告。フィロソフィア(早稻田大學)。人文學(同志社大學。東北學院大學論集。密教文化(高野山大學)。龍谷大學論集。大正大學研究紀要。大谷史學。國立國語研究所年報。同報告。京都女子大學紀要。熊本大學論叢。北海道大學文學部紀要。和歌山大學々藝學部紀要。龍谷史壇。關西大學文學論集。南都佛教。北海學園大學學園論集。大分大學々藝學部紀要。京都市立美術大學研究紀要。東京學藝大學研究報告。大倉山論集。名古屋大學文學部論集。群馬大學紀要。東洋大學紀要。華頂學園研究紀要。國際基督教大學々報。青山學院大學文學部紀要。史觀(早稻田大學)。大阪商業大學論集。明治大學和泉學舍研究室紀要。大崎學報。佛教學研究(龍谷大學)。愛知學院大學論叢。別府大學紀要。駒澤大學宗教社會研究所々報。テオリヤ(九州大學教養部哲學科)。東山高校研究紀要。關西學院大學論叢。中央大學哲學雜誌。明治大學英米文學。親鸞上人論叢。大谷專修學院。駒澤史學。佐賀龍谷學會紀要。九州大學哲學年報。史泉(關西大學)。東洋文庫論叢。日本大學世田谷教養部紀要。大谷大學研究年報。獨逸文學研究(京都大學教養部)。龜岡高校研究紀要。德島大學々藝紀要。同志社大學文化學年報。禪味(武藏野般若道場)。眞宗學。ヒブリヤ(天理圖書館)。日本文化(天理大學)。日本福祉大學研究紀要。麻布獸醫大學一般教育研究報告。弘前大學人文社會。福岡學藝大學紀要。神奈川大學人文研究。京都外國語大學研究論叢。文學(中央大學)。高野山大學論叢。大阪女子學園短大紀要。立正大學文學部論叢。四天王寺學園女子短大研究紀要。東京教育大學文學部紀要。同哲學論叢。智山學報。大乘禪。禪(潮音社)。東海佛敎。駒澤地理。北星學園女子短大紀要。國學院大學日本文化研究所紀要。近畿大學說苑。日本大學人文科學研究所紀要。文化(東北大學)。豐山學報。聞思(大谷大學眞宗學會)。京都藥科大學々報。奈良國立文化研究所年報。駒澤國文。F・A・S(京都大學學道々報。明治大學人文科學研究所年報。淨土學場)。明治大學人文科學研究所年報。インド學試論集(京都大學印度佛教學會)。上智經濟論集。東北福祉短期大學論叢。電子工業大學研究論集。西山學報。台灣經濟。青山學院大學一般教育部論集。日本教學研究所紀要。成安女子短期大學紀要。聖和(聖和學園短大)。玉川大學文學部紀要。東洋大學教養部紀要。叡山學報。神學と人文(大阪基督教短大)。甲南國文。東洋史研究。風俗(昭和女子大)。慶應大學体育研究所紀要。英語英米